

首都圏の社会資本整備と東京外かく環状道路（外環） に関するアンケート調査〔第2回〕

平成14年10月

国土交通省関東地方整備局
東京都都市計画局

アンケートご協力をお願い

今回の調査の実施にあたりましては、首都圏にお住まいの満20歳以上の方の中から住民基本台帳より無作為な抽出方法によって選出させていただきました。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願いいたします。

なお、皆様からのご意見は統計的に処理いたしますので、御協力いただいた個人にご迷惑をおかけすることはありません。

いただいたご意見は、貴重な資料として、今後の検討に活用させていただきます。また、調査結果はまとまり次第、公表する予定です。

ご記入にあたってのお願い

1. 調査対象（お送りした葉書の宛名）の方ご本人がご回答下さい。
2. ご回答は、黒か青色の鉛筆・ボールペン等をお願いします。
3. ご回答は、問1から最後の質問まで、順番をお願いします。
4. ご回答の仕方・ご記入の方法は、下記注意を参照して下さい。
 - (1) 質問ごとに、あなたの意見にあてはまる回答項目（番号）を 印で囲んで下さい。「その他」を選ばれた方は（ ）内に、その内容をご記入下さい。
 - (2) 「1つだけ」「3つ以内」など回答数が限られている質問では、あなたが最もよくあてはまるとお考えになる回答を指定の数以内で選んで下さい。
 - (3) 回答していただく方が限られる質問があります。質問文の矢印（ ）下の説明を読んでからご回答下さい。
 - (4) 問20は、質問内容についてのあなたのご意見を 内にありのままにご回答いただくものです。回答欄が足りない場合は、ご面倒でも欄外にご記入下さい。

調査に関するお問い合わせ

この調査の内容や調査日程等のご質問は、下記アンケート調査事務局までお問い合わせ下さい。
国土交通省 関東地方整備局 東京外かく環状道路調査事務所
アンケート調査事務局 TEL：0120-809-081（フリーダイヤル）
（受付時間：午前9時～午後6時 日曜、祭日を除く）

日常のクルマの運転について

問1. ご自宅のクルマをあなたはどれくらい運転しますか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

- | | | | |
|------------|------------|----------|----------|
| 1. ほとんど毎日 | 3. 週に1～2回位 | 5. 月に1回位 | 7. 運転しない |
| 2. 週に3～4回位 | 4. 月に2～3回位 | 6. それ以下 | |

問2. あなたは、高速道路をどれくらいの頻度でご利用になりますか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい(同乗者としての利用も含みます)。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. ほぼ毎日利用している | 4. 月に1～2回位利用している |
| 2. 週に2～3回位利用している | 5. 年に数(1～4)回位利用している |
| 3. 月に3～4回位利用している | 6. 利用しない |

道路交通の現状と交通対策について

首都圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)の広域的な道路交通に対して、普段あなたが感じていることについてお伺いします。

問3. 首都圏の渋滞状況についてどのように思っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 非常に渋滞がひどいと思う | 3. あまり渋滞はないと思う |
| 2. 渋滞がひどいと思う | 4. 渋滞はないと思う |

問4. 首都圏の道路整備についてお伺いします。東京23区やその周辺において幹線道路が足りないと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 非常に足りないと思う | 3. 多少足りないと思う |
| 2. かなり足りないと思う | 4. 現在の道路だけで充分だと思う |

問5. 東京や首都圏では、幹線道路や地域の道路の渋滞により、人々の買い物や通勤通学など日常生活に不便が生じている地域があります。あなたはこのことについてどのように思っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 非常に問題があると思う | 3. あまり問題はないと思う |
| 2. 問題があると思う | 4. 問題はないと思う |

問6. 幹線道路などの沿道では大量のクルマの通行とこれに伴う渋滞により、大気汚染や騒音など生活環境が悪化しているところがあります。このような生活環境の悪化についてあなたはどのように思っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 非常に問題があると思う | 3. あまり問題はないと思う |
| 2. 問題があると思う | 4. 問題はないと思う |

問7. 首都圏の交通問題のうち、解決することが特に重要だと、あなたが考えることは何ですか。次の中から3つ以内で選んで○をつけて下さい。「その他」を選ばれた方は()内に、その内容をご記入下さい。

1. 高速道路や幹線道路の慢性的な渋滞	
2. 交通事故	
3. 歩行者や自転車の快適性・安全性の低さ	
4. 地球環境への負荷	
5. 道路沿道環境への負荷	
6. 災害時の避難や救援物資の輸送の脆弱さ	
7. 駅や空港へのアクセス性の低さ	
8. その他)
(
9. 特になし	

社会資本整備について

地域の社会資本整備についてお伺いします。

問8. あなたのお住まいの地域で整備が必要と思われる施設は何ですか。次の中から5つ以内で選んで○をつけて下さい。「その他」を選ばれた方は()内に、その内容をご記入下さい。

1. 高速道路	15. 廃棄物処理施設
2. 幹線道路	16. 上水道
3. 地域の道路（生活道路）	17. 下水道
4. 歩道	18. 川に親しむため（親水のため）の施設
5. 自転車道	19. 防災施設（避難所、備蓄基地など）
6. モノレールや路面電車など新しい都市交通	20. 情報・通信のための基盤施設 （衛星放送・ケーブルTV）
7. 鉄道、地下鉄、バスなど地域の交通機関	21. その他、重要と思われる社会的な施設のあり方についてご意見があればお書き下さい
8. 駅前の拠点整備（商店街や公益施設の整備）)
9. 教育・社会施設 （幼稚園、学校、博物館、美術館など）	
10. 福祉厚生・医療関係施設（保育所、老人ホーム、デイサービスセンター、病院など）	(
11. 交番、消防署、郵便局、コミュニティセンター	
12. 公園)
13. 緑地	
14. 住宅（公営住宅）	22. 特になし

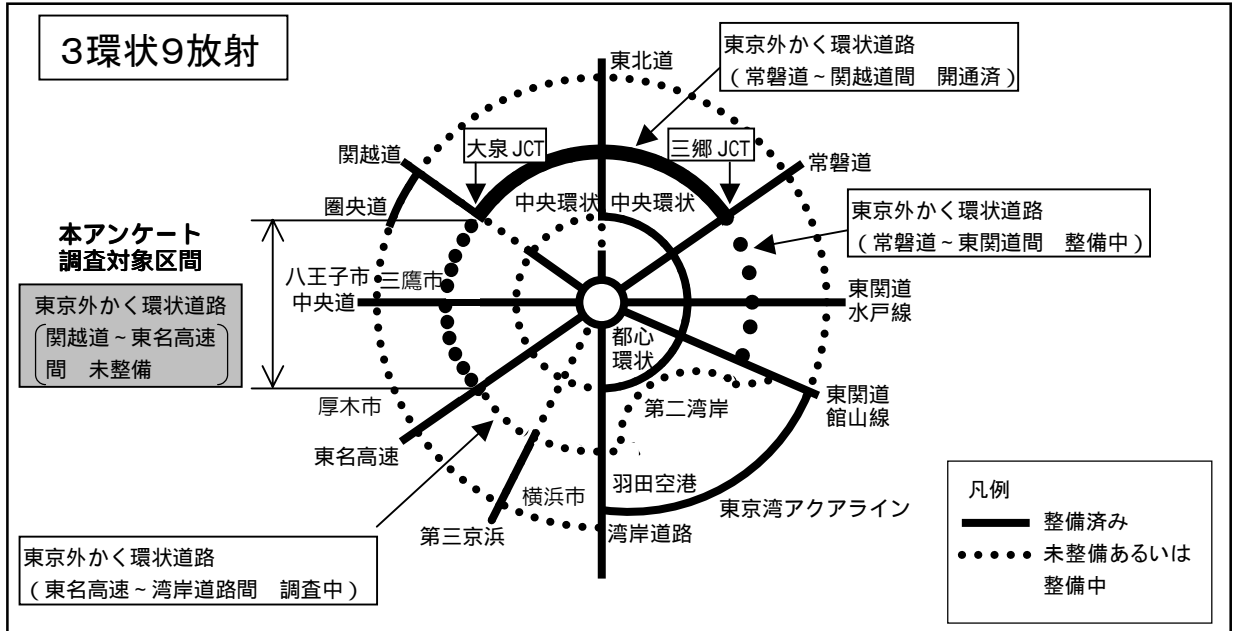
問9. 首都圏における交通問題への対策に関する、次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。ア. ～キ. の意見それぞれについて(例)にならって1つずつ○をつけて下さい。

	そう思う	ややそう思う	言えない どちらとも	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
(例) 祝祭日を増やすべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ア. 身のまわりの地域の道路を整備すべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ. 歩道や自転車道を整備すべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウ. 高速道路や幹線道路などの整備を進めるべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エ. 都心へ入ってくるクルマに料金を徴収する措置(ロードプライシング制度)をとり、都心へのクルマの流入量を抑制すべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オ. 渋滞を解消するために、相乗り、時差通勤、物流の輸送効率向上など、適切なクルマの利用方法を進めるべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カ. 地下鉄や鉄道などの公共交通をもっと整備すべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キ. 地域の足となるバスなど地域の公共交通を整備すべきだ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

外環に関する検討について

●外環とは

東京外かく環状道路(外環)は「3環状9放射」の一部で、都心から約15kmの地域を環状に連絡する延長約85kmの道路です。現在、常磐道から関越道間約30kmが開通しています。常磐道から東関道間の約20kmについては整備中です。しかし、それ以外の区間は未整備のままとなっています。



●外環の経緯

- 昭和41年7月：都市計画決定(東京・埼玉都県境～東名高速/高架構造)
- 昭和45年10月：建設大臣が「地元と話し得る条件が整うまでは強行すべきでない」旨の発言
- 平成11年10月：東京都知事が武蔵野市、練馬区の現地を視察
- 平成11年12月：東京都知事、都議会定例会で「自動車専用部の地下化を基本として計画の具体化について取り組む」ことを表明
- 平成12年4月：東京外かく環状道路に関する地元団体との話し合いを開始
- 平成13年1月：国土交通大臣と東京都知事が、三鷹市、武蔵野市の現地を視察
- 平成13年4月：国土交通省と東京都が外環の「計画のたたき台」を公表
- 平成13年5月：国土交通大臣が参議院国土交通委員会において、遺憾の意を表明
- 平成13年12月：「東京環状道路有識者委員会」が発足
- 平成14年6月：沿線7区市の関係者、地元自治体、国土交通省、東京都の話し合いの場である「PI外環沿線協議会」が発足

●現在の状況

- ・沿線7区市の関係者、地元自治体、国土交通省、東京都の話し合いの場である「PI外環沿線協議会」が設置され、外環の必要性の有無(効果と影響)から議論されています。
- ・その他、国と都は説明会の実施や、広報紙の発行、ホームページでの情報提供、ハガキや電子メールでの意見把握を行っています。
- ・国と都による、これらのPI活動に対して、有識者から構成されている「東京環状道路有識者委員会」が第三者の立場から審議、評価、助言を行っています。

外環におけるP I（パブリック・インボルブメント）の取り組みについて

P Iとは、施策の立案や事業の計画・実施等の過程で、関係する住民、利用者や国民一般に情報を公開した上で、広く意見を聴取し、それらを計画づくりに反映することです。

主な取り組み

- 平成 11 年 5 月 外環専用ダイヤル開設
平成 11 年 6 月 外環ホームページ開設
平成 11 年 6 月 パンフレット「外かんのどうしてこうして…」発行（1 万部）
平成 11 年 6 月 パンフレット添付はがきの開始
平成 11 年 12 月 パンフレット「東京外かく環状道路 関越道～東名高速間のあらまし」発行（3 万部）
平成 11 年 12 月 パンフレット「外環の必要性和その効果 Ver. 1」発行（3 万部）
平成 12 年 2 月 外環に関するアンケート調査（第 1 回）（1 都 3 県から約 1 万人抽出）
平成 12 年 2 月 リーフレット「ご意見ください、外環に」発行（5 万部）
平成 12 年 2 月 広報紙「外環ジャーナル VOL. 1」配布（9 3 万部）
平成 12 年 5 月 外環に関するアンケート調査結果公表（約 6 千人回答）
平成 12 年 6 月 パンフレット「みなさんの声 外環に関するアンケート結果」発行（2 万部）
平成 12 年 9 月 広報紙「外環ジャーナル VOL. 2」配布（9 3 万部）
平成 13 年 2 月 広報紙「外環ジャーナル VOL. 3」配布（9 3 万部）
平成 13 年 4 月 パンフレット「東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）の計画のたたき台」発行（3 万部）
平成 13 年 4 月 広報紙「外環ジャーナル VOL. 4」配布（9 3 万部）
平成 13 年 5 月 計画のたたき台の説明会を開催（10 会場、延べ約 3 千人参加）
平成 13 年 6 月 相談所を開設（13 カ所、延べ約 2 百人参加）
平成 13 年 8 月 広報紙「外環ジャーナル VOL. 5」配布（9 3 万部）
平成 13 年 11 月 パンフレット「みなさんの声」発行（2 万部）
平成 13 年 12 月 「東京環状道路有識者委員会」が発足
- 東京環状道路有識者委員会が意見聴取した方々
第3回 上石神井商店街振興組合、北野不動産管理研究会
第4回 外環道路反対連盟
第5回 東京路線トラック協議会
第6回 (社)日本自動車連盟(JAF)、西武バス(株)
第8回 東京商工会議所、草加市
第9回 辻水深団地自治会、国立環境研究所
- 平成 14 年 1 月 広報紙「外環ジャーナル VOL. 6」配布（9 3 万部）
平成 14 年 4 月 「東京環状道路有識者委員会」が第一次提言をとりまとめ
平成 14 年 4 月 広報紙「外環ジャーナル VOL. 7」配布（9 3 万部）
平成 14 年 6 月 沿線 7 区市の関係者、地元自治体、国土交通省、東京都の話し合いの場である「P I 外環沿線協議会」が発足（平成 14 年 9 月末までに 7 回開催）
平成 14 年 6 月 外環専用ダイヤルのフリーダイヤル化
平成 14 年 9 月 広報紙「外環ジャーナル VOL. 8」配布（9 3 万部）



外環ホームページ



計画のたたき台説明会の模様



第2回東京環状道路有識者委員会の審議の模様



第5回PI外環沿線協議会の模様

情報の発信(平成 12 年 2 月～平成 14 年 8 月まで)

平成 12 年 2 月のアンケート実施以後の件数をとりまとめると、以下のようになります。

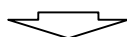
パンフレットの配布	約 12 万 9 千部
広報紙(外環ジャーナル)の配布	約 93 万部を 8 回配布
説明会・相談所・現地視察会の開催	100 回、約 4500 名参加
ホームページ	約 3 万 1 千件アクセス
記者発表	26 回



発行・配布したパンフレット



発行・配布した広報紙(外環ジャーナル)



いただいた意見(平成 12 年 2 月～平成 14 年 8 月まで)

平成 12 年 2 月のアンケート実施以後の件数をとりまとめると、以下のようになります。

説明会・相談所	約 870 名
はがき	約 2000 通
電話・FAX・メール等	約 1200 件
アンケート調査	約 6200 名



寄せられたハガキ



相談所の模様

平成 12 年 2 月～平成 14 年 8 月までに、延べ約 109* 万名の方に情報発信して延べ約 1 万名の方々からご意見をいただいているところです。

* : パンフレットと広報紙の配布数 + 説明会等の参加者 + ホームページアクセス数

問 10. 4ページの図の「3環状9放射」という首都圏の高速道路ネットワーク構想があるのをご存知でしたか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. よく知っていた | 3. 聞いたことがあるような気がする |
| 2. ある程度知っていた | 4. 知らなかった |

問 11. 都心の道路を通らないで移動できるように、新たに環状道路を整備すべきだという意見がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 賛成できる | 3. あまり賛成できない |
| 2. どちらかという賛成できる | 4. 賛成できない |

問 12. 東京都内では関越道(大泉)から東名高速間の東京外かく環状道路(外環)が計画されていますが、この計画についてあなたはどの程度ご存知ですか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 詳しく知っている |
| 2. ある程度知っている |
| 3. 名前は聞いたことがあるような気がする |
| 4. 知らなかった(このような計画があることをはじめて聞いた) |

問 13. 現在、外環の関越道～東名高速間について、都市計画の変更や環境アセスメントなどの手続きに入る前に、関係する自治体や地域住民の方々をはじめとする多くの方々に計画づくりの初期段階から関連情報を提供して、ご意見をお聞きするという「PI(パブリック・インボルブメント)方式」(5～6ページを参照して下さい)で検討を行っています。このことについてご存知でしたか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 詳しく知っている |
| 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことがあるような気がする |
| 4. 知らなかった(P I方式で進めていることをはじめて聞いた) |

問 14. 外環は関越道～常磐道間がすでに開通しており、現在は常磐道～東関道間が整備中ですが、関越道～東名高速間は全く整備が進められていません。この区間についても整備し、関越道や中央道、東名高速などの高速道路のネットワーク化を図るべきだという意見がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

1. 賛成できる	3. あまり賛成できない
2. どちらかという賛成できる	4. 賛成できない

(問 14 で1または2とお答えの方に)

問 14-1. 問 14 であなたが「賛成できる」または「どちらかという賛成できる」と思われる理由は何ですか。次の中から重要と思われる順に3つ以内で選んでその番号を回答欄にご記入下さい。「その他」を選ばれた方は()内に、その内容をご記入下さい。

回答欄 (番号を3つまでご記入下さい)	1番目に重要	2番目に重要	3番目に重要
------------------------	--------	--------	--------

1. 首都圏の環境負荷の軽減に寄与するから 2. 渋滞が緩和し、首都圏の交通の円滑化に寄与するから 3. 物流の効率化など、首都圏の経済活動を支えるから 4. 環状7号線、環状8号線の慢性的な渋滞を緩和するから 5. 地元の意向を踏まえた、地上部のまちづくりが可能になるから 6. 次世代に残すべき社会資本だから 7. その他 () 8. 特になし

(問 14 で3または4とお答えになった方は、問 14-2 へ進んで下さい。)

(問 14 で3または4とお答えの方に)

問 14-2. 問 14 であなたが「賛成できない」または「あまり賛成できない」と思われる理由は何ですか。次の中から重要と思われる順に3つ以内で選んでその番号を回答欄にご記入下さい。
「その他」を選ばれた方は()内に、その内容をご記入下さい。

回答欄 (番号を3つまでご記入下さい)	1 番目に重要	2 番目に重要	3 番目に重要
------------------------	---------	---------	---------

<p>1. 道路がますます混むから</p> <p>2. 自動車社会がますます進むから</p> <p>3. 国民の負担(次世代の負担も含む)が大きいから</p> <p>4. 行政が勝手に進めるから</p> <p>5. 建設費が膨大だから</p> <p>6. 住宅密集地を通過するので、移転や地域分断によりコミュニティが崩壊するから</p> <p>7. 住宅密集地における大気汚染や騒音、振動が発生するから</p> <p>8. 自然環境が減少するから</p> <p>9. 生活道路での歩行者・自転車の安全性が低下するから</p> <p>10. その他</p> <p>()</p> <p>11. 特になし</p>
--

(ここからは再び全員の方がお答え下さい。)

問 15. 外環で実施されているPI方式(5~6ページを参照して下さい)の検討について、あなたはどのように思いますか。次の中から当てはまるもの1つに○をつけて下さい。

評価できない	やや評価できる	言えない どげらとでも	あまり 評価できない	評価できない	わからない
-----	-----	-----	-----	-----	-----

問 16. PI方式(5~6ページを参照して下さい)で検討を進める上ではどのようなことが重要だと、あなたは考えますか。次の中から重要と思われる順に3つ以内で選んでその番号を回答欄にご記入下さい。「その他」を選ばれた方は()内に、その内容をご記入下さい。

回答欄 (番号を3つまでご記入下さい)	1番目に重要	2番目に重要	3番目に重要
------------------------	--------	--------	--------

<p>1. 意見を言う機会が複数あること</p> <p>2. 出された意見がどのように取り扱われるのか、あらかじめ明らかであること</p> <p>3. どのような意見・議論があるのか明らかであること</p> <p>4. 意見を表明する場や議論の場としてどのような場があるのか明らかであること</p> <p>5. どんな計画であるのかといった情報を十分に得られること</p> <p>6. いつ、何が、どのように決まるのかが明らかで、時間管理がきちんとなされていること</p> <p>7. 市民から寄せられた意見が計画の内容や進め方に十分に反映されていること</p> <p>8. 多様な方策も含めて最もよい方策を話し合うこと</p> <p>9. 道路整備をしない案も含めて検討すること</p> <p>10. 地域への影響について、詳細な検討を行うこと</p> <p>11. 関係する市民と十分話し合いながら、じっくりと時間をかけて検討すること</p> <p>12. その他</p> <p style="text-align: center;">()</p> <p>13. 特になし</p>

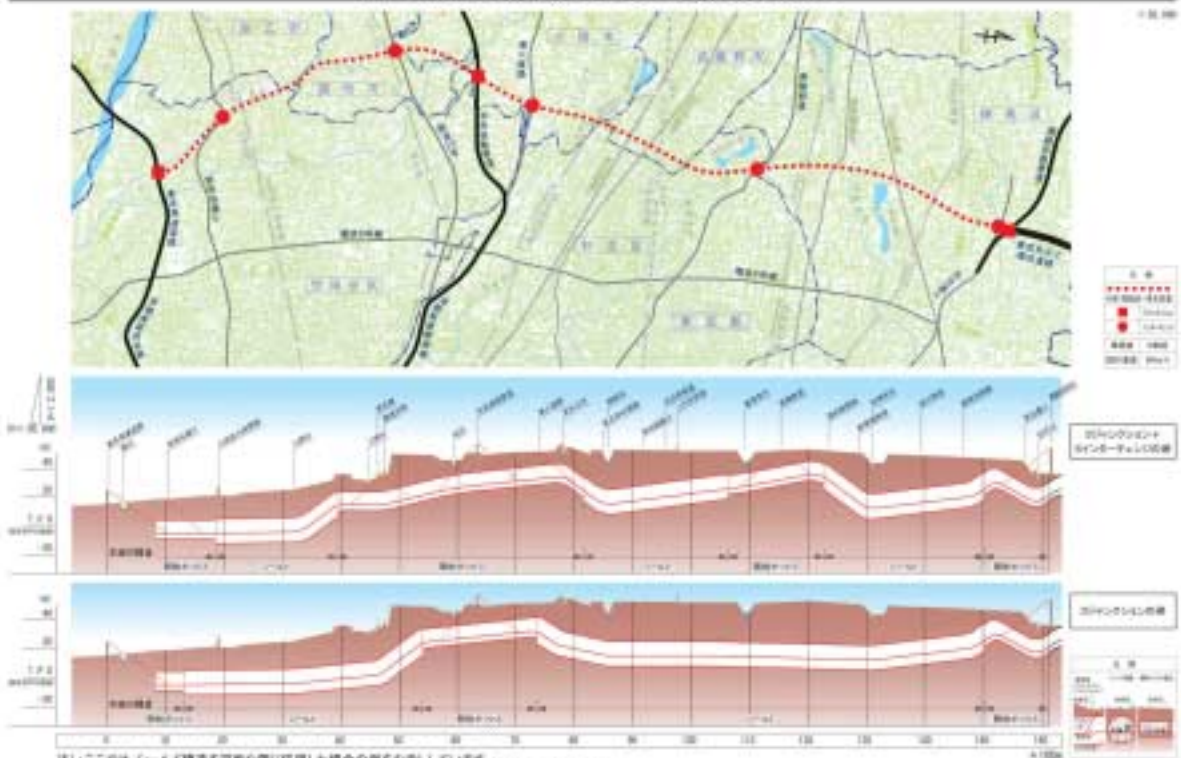
外環計画のたたき台について

国土交通省と東京都は、外環の関越道～東名高速間について、原点に立ち戻って、計画策定の初期段階から検討するため、平成13年4月に「計画のたたき台」を公表しました。このたたき台は、外環の都市計画決定後から36年が経過し、その後の社会状況、地域の状況、土木技術力などが大きく変化していることから、これまでの計画を見直すためのものです。

●計画のたたき台とは



平面・縦断面 【0.5m間隔の断面と10m間隔の断面の例】



注1)ここでは、シールド構造を可変断面から採用した場合の例をお示ししています。
 この図は、インターチェンジの設置例のイメージを示したものであり、今後の設計により変更されます。

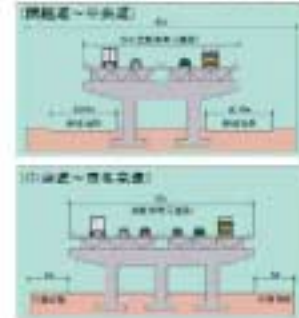
構造について

●現計画の自転車専用道路と幹線道路の広域機能を集約して、全線地下構造の自転車専用道路とします。



地下構造



現在(昭和41年決定)の都市計画



地下構造の形式

	シールド構造	懸垂ボックス構造
構造	地上から掘削は行わず、地下でモグラのようなシールドマシンによりトンネルを構築するもの	一旦、地上から掘削して道路構造物を構築し、再び埋め戻すもの
断面		
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・地上部からの工事を最小限に抑えることが可能です。 ・地上部も、現状の市街地を維持することが可能です。一方、地域のための道路や緑地帯、公園などの整備を含め改めてまちづくりを行うことも可能です。 ・トンネル内の排出ガスは換気施設で換排・排出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地上部から掘削するため、工事中は、建物等の移動が必要です。 ・埋め戻した後の地上部も、地域のための道路や緑地帯、公園などの整備を含め新たにまちづくりを行うことが可能です。 ・トンネル内の排出ガスは換気施設で換排・排出します。

なお、地下構造としては、この他に掘削構造が考えられます。

地上部の利用について(検討するためのメニュー)

公園や歩道等を整備する場合



公園や歩道など、安全で親しみやすい公共空間を整備します

バス路線など公共交通を整備する場合



バスなど公共交通サービスの充実を図ります

幹線道路を整備する場合



持地を備えた便利な道路を整備します

住宅・地域コミュニティを維持する場合

住宅などに利用することができます



現状の市街地を維持することができます



※掘削ボックス構造の場合、帯圧が必要で、

問 17. 国土交通省と東京都がこのような「計画のたたき台」を公表したことをあなたはご存知でしたか。次の中から1つだけ選んで○をつけて下さい。

1. よく知っていた	3. 聞いたことがあるような気がする
2. ある程度知っていた	4. 知らなかった

問 18. 沿道への影響を抑えるため、地下案が提案されましたが、あなたはそのことについてどのように思いますか。次の中から当てはまるもの1つに○をつけて下さい。

評価できない	やや評価できない	どちらとも 言えない	あまり 評価できない	評価できない	わからない

問 19. 「計画のたたき台」では高架構造である計画を地下構造に変更していますが、次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。ア.、イ. の意見それぞれについて(例)にならって1つずつ○をつけて下さい。

	そう思う	ややそう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
(例) 祝祭日を増やすべきだ。						
ア. 地下構造は費用がかかるので、地上に高架構造で整備するべきだ。						
イ. 地下構造は地上に高架構造で整備するよりも費用がかかるが、沿道への影響を極力抑えるために地下構造で整備するべきだ。						

問 20. 国土交通省と東京都は外環計画の検討を進めておりますが、この検討に対しご意見やご要望がありましたら具体的にご記入下さい。

最後にあなたご自身のことについてお伺いします。

性 別	1 . 男性	2 . 女性	
あなたの年齢	1 . 20～29才	3 . 40～49才	5 . 60～69才
	2 . 30～39才	4 . 50～59才	6 . 70才以上
職業 (あなたご自身)	1 . 自営業	4 . 専業主婦	7 . 無職
	2 . 会社員・公務員・団体職員	5 . 自由業	8 . その他
	3 . 学生	6 . パート・アルバイト	()
今お住まいの地域での居住年数	1 . 1年未満	3 . 5～10年未満	5 . 20～30年未満
	2 . 1～5年未満	4 . 10～20年未満	6 . 30年以上

お忙しいところ、アンケート調査にご協力いただきまして、
誠にありがとうございました。

ご記入の調査票は、後日訪問いたします調査員にお渡し下さい。

東京外かく環状道路に関するアンケート調査について

- 記者発表資料 -

国土交通省と東京都は、首都圏における道路などの社会資本整備の評価、東京外かく環状道路（以下「外環」という）の必要性等についての皆様のご意見を把握するため、平成12年度の調査に引き続き下記のとおりアンケート調査を実施します。

記

- 1 調査開始 平成14年10月5日（土）
- 2 調査対象エリア 1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）
- 3 調査対象 20歳以上
- 4 調査手法 訪問留置法（調査員が調査対象者の自宅を訪問し、調査票を留置し、数日後、再訪問し調査票を回収する方法）
- 5 抽出方法 住民基本台帳より各種世論調査で一般的に用いられている公正で偏りのない抽出手法（層化二段無作為抽出法）によって抽出しています。
- 6 調査主体 国土交通省関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所
東京都都市計画局都市基盤部外かく環状道路担当
- 7 調査項目内容
 - ・日常の車の運転について
 - ・道路交通の現状と交通対策について
 - ・社会資本整備について
 - ・「外環」に関する検討について
- 8 調査結果の公表 調査結果については、まとめ次第公表する予定です。

平成14年10月1日

国土交通省関東地方整備局

東京都都市計画局

発表記者クラブ

国土交通記者会 国土交通省建設専門紙記者会
竹芝記者クラブ さいたま新都心記者クラブ
横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会
都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局道路部計画調整課長 いとう たかし 伊藤 高
電話：[代表] 048-601-3151（内線 4311）

東京都都市計画局都市基盤部外かく環状道路担当課長 みやなが まこと 宮良 眞
電話：[直通] 03-5388-3326（都庁内線 30-470）